

# 福祉施設の出品展 今年は演奏も提供

あすから久喜でフェス



初めてのステージに向けた練習の様子＝宮代町の進修館

県東北部6市1町の福祉施設に通う人たちが手作り品を展示、販売する「ホットハートフェスティバル」が19、21日、久喜市菖蒲町の商業施設「モラージュ菖蒲・滝のコート」で開かれ

る。23回目の今回は、自立を目指す障害者が初めて会場ステージで演奏する。

フェスティバルは2004年に始まり、革製品や手織り物、木工品、加工食品

などを出品し、障害者が販売にも立って来場者と交流している。久喜や幸手、羽生、加須各市などのほか、今年は北本市の「あすなろ学園」が初めて参加する。

電子ピアノや木琴で音楽を披露するのは、特別支援学校を終えた後、引き続き自立に向けて学ぶ7人。楽器演奏を含めたカリキュラムをこなしてきた白坂茅さん(19)は「頑張って練習したので楽しみ」と話す。

主催する、障害者支援のNPO法人「あかり」(久喜市)の川岸恵子代表理事は「日々成長してきた姿を見てほしい」。ステージは毎日午前11時から。プロによるジャズやフォルクローレ、津軽三味線などの舞台も午後には3回ある。問い合わせは、あかり(0480・24・2060)。(高橋町彰)